

【最優秀賞】 ヴィンテージ・ヴィラ相模原

テーマ：昔を思い出す事の大切さ ～回想法から始まったトータルケア～

●発表内容●

『回想法』とは、思い出を語り合ったり、その時間を共有することで自身の歴史や人生を再確認するきっかけになり、存在意義や自尊心の保持につなげることができる心理療法。

入居者様との会話の中でその回想法を活用することとし、若いスタッフも含めて「昭和時代」を再勉強。

何気ない日常の会話の中に昔話を取り入れることで、コミュニティ機能の低下が課題となる"介護予備軍"の方のみならず"自立"の方とのコミュニケーションを高めることができ、その効果を実感した。

●評価のポイント●

- ・回想法の効果である自分の存在価値を見いだすことは「自分らしさの保持」につながり、生涯自立へ導く素晴らしい効果・検証の発表であった。
- ・この取り組みを平成 21 年から 8 年以上にわたり継続していることを大いに評価する。
- ・家庭介護でも役立つ回想法講座を行うなど、活動範囲が地域交流にも発展している。

【優秀賞】 ヴィンテージ・ヴィラ向ヶ丘遊園

テーマ：「スキルアップ勉強会」 ～その知識がご入居者を笑顔にする！！～

●発表内容●

ヴィンテージ・ヴィラ内の高齢化により病気や体調不良の相談が増加しており、介護スタッフに病気や医療の知識が求められるようになった背景から、日々の業務をおこないながらスキルアップする方法についてアンケートなどを通して検討・議論し、業務の合間に少しずつ自習できる工夫やスタッフ間でのミニセミナーを実施。

結果として、スキルのみならず自信の向上にも繋がった。

●評価のポイント●

- ・介護と医療の連携は必要不可欠であり、医療連携の向上につなげた発表であった。
- ・"入居者様の「いつもと違う」を気付くことができる" "その人らしく生活するためにその人らしさを考え支える"という介護において重要な視点を捉えている。

